

三瀧寺 縁起

大同4年(809年)弘法大師が唐からの帰途に安芸国を巡り、この地三滝を聖地と定め観音様を表わす「サ」という梵字を天然石に刻み、岩窟に安置したときが三瀧寺の開創と伝えられています。

その後、文政9年(1826年)「明禪(みょうぜん)」が三瀧山へ入山し、龍泉寺を再興するまで千年余り霊験あらたかということで参拝者が絶えることはなかったと言われています。残念ながら度重なる土石流により記録が紛失したためにこの間の事情は分かりません。

「明禪」は明治17年(1884年)に逝去するまでの60年間、想親観音堂、鐘堂の建立に努めました。

その「明禪」の後を受け「四鬼神(よきじん)」が宮島の弥山より来往し、三鬼堂を建立し、同寺の隆盛に貢献しました。師は大変徳の高い人だったと伝えられています。

「四鬼神」は明治37年(1904年)に遷化(せんか)し、弟子の「要憲(ようけん)」がその意志を受けて諸堂の再築再建に努めました。三瀧寺を特徴づけている三十三体の摩崖仏観音像は江戸時代初期に彫られ、四国八十八ヶ所の本尊を模した石仏は「要憲」の時代に作られました。

現在の佐藤元宣住職は「要憲」の孫にあたられます。

三瀧寺はかつて「三つの滝に幾夜うたせて龍泉寺、胸の仏の姿みるまで」と、ご詠歌に歌われていますが、いつの頃か「龍泉山・三瀧寺」(三瀧山・龍泉寺が正式名称)と呼ばれるようになりました。

なお、「三滝町」の町名は昭和8年(1933年)の広島市の町名変更によってできたものです。



1 竺和山 一乗院 雲山寺
徳島県鳴門市



本尊
釈迦如来
宗派
真言宗

2 日照山 無量寿院 極楽寺
徳島県鳴門市



本尊
阿弥陀如来
宗派
真言宗

3 亀光山 釈迦院 金泉寺
徳島県板野郡



本尊
釈迦如来
宗派
真言宗

13 大黒山 花蔵院 大日寺
徳島県徳島市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

14 盛寿山 延命院 常楽寺
徳島県徳島市



本尊
弥勒菩薩
宗派
真言宗

15 法養山 金色院 園分寺
徳島県徳島市



本尊
薬師如来
宗派
曹洞宗

4 黒巖山 遍照院 大日寺
徳島県板野郡



本尊
大日如来
宗派
真言宗

5 無尽山 荘厳院 地藏寺
徳島県板野郡



本尊
勝軍地藏菩薩如来
宗派
真言宗

6 温泉山 瑠璃光院 安楽寺
徳島県板野郡



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

16 光耀山 千手院 観音寺
徳島県徳島市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗

17 瑠璃山 真福院 井戸寺
徳島県徳島市



本尊
七仏薬師如来
宗派
真言宗

18 母養山 宝樹院 恩山寺
徳島県小松島市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

7 光明山 蓮華院 十善寺
徳島県阿波市



本尊
阿弥陀如来
宗派
真言宗

8 普明山 真光院 熊谷寺
徳島県阿波市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗

9 正光山 菩提院 法輪寺
徳島県阿波市



本尊
涅槃釈迦如来
宗派
真言宗

19 橋池山 地藏院 立江寺
徳島県小松島市



本尊
延命地藏菩薩
宗派
真言宗

20 雲鷲山 宝珠院 鶴林寺
徳島県勝浦郡



本尊
地藏菩薩
宗派
真言宗

21 舎心山 常住院 太竜寺
徳島県阿南市



本尊
虚空蔵菩薩
宗派
真言宗

10 得度山 灌頂院 切幡寺
徳島県阿波市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗

11 金剛山 藤井寺
徳島県吉野川市



本尊
薬師如来
宗派
臨済宗

12 摩盧山 正寿院 焼山寺
徳島県名西郡



本尊
虚空蔵菩薩
宗派
真言宗

22 白水山 医王院 平等寺
徳島県阿南市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

23 医王山 無量寿院 那王寺
徳島県海部郡



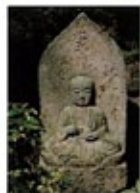
本尊
薬師如来
宗派
真言宗

24 室戸山 明星院 最御崎寺
高知県室戸市



本尊
虚空蔵菩薩
宗派
真言宗

25 宝珠山 真言院 津照寺
高知県室戸市



本尊
延命地藏菩薩
宗派
真言宗

26 竜頭山 光明院 金剛頂寺
高知県室戸市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

27 竹林山 地藏院 神峰寺
高知県安芸郡



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

27 藤井山 五智院 岩本寺
高知県高岡郡



本尊
不動明王、聖観音菩薩
阿彌陀如来、薬師如来
地藏菩薩
宗派
真言宗

28 踰陀山 補陀落院 金剛福寺
高知県土佐清水市



本尊
三面千手観世音菩薩
宗派
真言宗

29 赤龜山 寺山院 延光寺
高知県宿毛市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

28 法界山 高照院 大日寺
高知県高岡市



本尊
大日如来
宗派
真言宗

29 摩尼山 宝蔵院 国分寺
高知県南国市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗

30 百々山 善壽寺
高知県高知市



本尊
阿彌陀如来
宗派
真言宗

40 平城山 郭師院 観自在寺
愛媛県南宇和郡



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

41 稲荷山 護国院 竜光寺
愛媛県宇和島市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

42 一尋山 昆盧舍那院 仏木寺
愛媛県宇和島市



本尊
大日如来
宗派
真言宗

31 五台山 金色院 竹林寺
高知県高知市



本尊
文殊菩薩
宗派
真言宗

32 八雲山 求聞持院 禪師峰寺
高知県南国市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

33 高福山 智賢寺
高知県高知市



本尊
薬師如来
宗派
臨濟宗

43 源光山 円手院 明石寺
愛媛県西予市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
天台宗

44 菅生山 大光院 大宝寺
愛媛県上浮穴郡



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

45 海岸山 岩屋寺
愛媛県上浮穴郡



本尊
不動明王
宗派
真言宗

34 本尾山 朱雀院 覆間寺
高知県香川郡



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

35 匠王山 鏡池院 清滝寺
高知県土佐市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

36 独鈷山 伊舎那院 青竜寺
高知県土佐市



本尊
不動明王
宗派
真言宗

46 匠王山 養珠院 浄瑠璃寺
愛媛県松山市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

47 熊野山 妙見院 八坂寺
愛媛県松山市



本尊
阿彌陀如来
宗派
真言宗

48 清滝山 安養院 西林寺
愛媛県松山市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

- | | | | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>49 西林山 三蔵院 浄土寺
愛媛県松山市</p>  <p>本尊
釈迦如来
宗派
真言宗</p> | <p>50 東山 瑠璃光院 繁多寺
愛媛県松山市</p>  <p>本尊
薬師如来
宗派
真言宗</p> | <p>51 熊野山 虚空蔵院 石手寺
愛媛県松山市</p>  <p>本尊
薬師如来
宗派
真言宗</p> | <p>61 栴檀山 教王院 香園寺
愛媛県西条市</p>  <p>本尊
大日如来
宗派
真言宗</p> | <p>62 天養山 観音院 宝寿寺
愛媛県西条市</p>  <p>本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>63 密教山 胎藏院 吉祥寺
愛媛県西条市</p>  <p>本尊
毘沙門天
宗派
真言宗</p> |
| <p>52 滝雲山 護持院 太山寺
愛媛県松山市</p>  <p>本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>53 須賀山 正智院 円明寺
愛媛県松山市</p>  <p>本尊
阿弥陀如来
宗派
真言宗</p> | <p>54 近見山 宝鏡院 延命寺
愛媛県今治市</p>  <p>本尊
不動明王
宗派
真言宗</p> | <p>64 石鉄山 金色院 前神寺
愛媛県西条市</p>  <p>本尊
阿弥陀如来
宗派
真言宗</p> | <p>65 由雲山 慈尊院 三角寺
愛媛県四国中央市</p>  <p>本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>66 巨甕山 千手院 雲辺寺
徳島県三好市</p>  <p>本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗</p> |
| <p>55 別宮山 金剛院 南光坊
愛媛県今治市</p>  <p>本尊
大通智勝仏
宗派
真言宗</p> | <p>56 金輪山 勳王院 泰山寺
愛媛県今治市</p>  <p>本尊
地藏菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>57 府頭山 無量院 栄福寺
愛媛県今治市</p>  <p>本尊
阿弥陀如来
宗派
真言宗</p> | <p>67 小松尾山 不動光院 大興寺
香川県三豊市</p>  <p>本尊
薬師如来
宗派
真言宗</p> | <p>68 七宝山 神恵院
香川県観音寺市</p>  <p>本尊
阿弥陀如来
宗派
真言宗</p> | <p>69 七宝山 観音寺
香川県観音寺市</p>  <p>本尊
聖観世音菩薩
宗派
真言宗</p> |
| <p>58 作礼山 千光院 仙遊寺
愛媛県今治市</p>  <p>本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>59 金光山 最勝院 国分寺
愛媛県今治市</p>  <p>本尊
薬師如来
宗派
真言律宗</p> | <p>60 石鏡山 福智院 横峰寺
愛媛県西条市</p>  <p>本尊
大日如来
宗派
真言宗</p> | <p>70 七宝山 持宝院 本山寺
香川県三豊市</p>  <p>本尊
馬頭観世音菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>71 剣五山 千手院 弥谷寺
香川県三豊市</p>  <p>本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗</p> | <p>72 我拝師山 延命院 曼荼羅寺
香川県善通寺市</p>  <p>本尊
大日如来
宗派
真言宗</p> |

75 我拝師山 求聞持院 出釈迦寺
香川県善通寺市



本尊
釈迦如来
宗派
真言宗

74 医王山 多宝院 甲山寺
香川県善通寺市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

75 五岳山 誕生院 善通寺
香川県善通寺市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

85 五剣山 千手院 八尋寺
香川県高松市



本尊
聖観世音菩薩
宗派
真言宗

86 補陀落山 清浄院 志度寺
香川県さぬき市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

87 補陀落山 観音院 長尾寺
香川県さぬき市



本尊
聖観世音菩薩
宗派
天台宗

76 鷗足山 宝幢院 金堂寺
香川県善通寺市



本尊
薬師如来
宗派
天台宗

77 森多山 明王院 道隆寺
香川県仲多度郡



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

78 仏光山 広徳院 郷照寺
香川県綾歌郡



本尊
阿弥陀如来
宗派
時宗

88 医王山 遍照院 大窪寺
香川県さぬき市



本尊
薬師如来
宗派
真言宗

昭和初期に三瀧寺の住職が四国八十八カ所参りをした熱心な信者に呼びかけ三瀧寺に八十八体の石仏が寄贈されました。その後四国八十八カ所参りをした信者をご利益を得て石仏を新たに寄贈したいと申し出があり、弘法大師像に寺番号を付し追加寄贈したので現在のように多数の石仏が参道に供えられています。

出典: 国史大百科全書 (小学館発行)

79 金草山 高照院 天皇寺
香川県坂出市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

80 白牛山 千手院 国分寺
香川県高松市



本尊
十一面観世音菩薩
宗派
真言宗

81 綾松山 洞林院 白峰寺
香川県坂出市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗

82 青峰山 千手院 根香寺
香川県高松市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
天台宗

83 神楽山 大宝院 一宮寺
香川県高松市



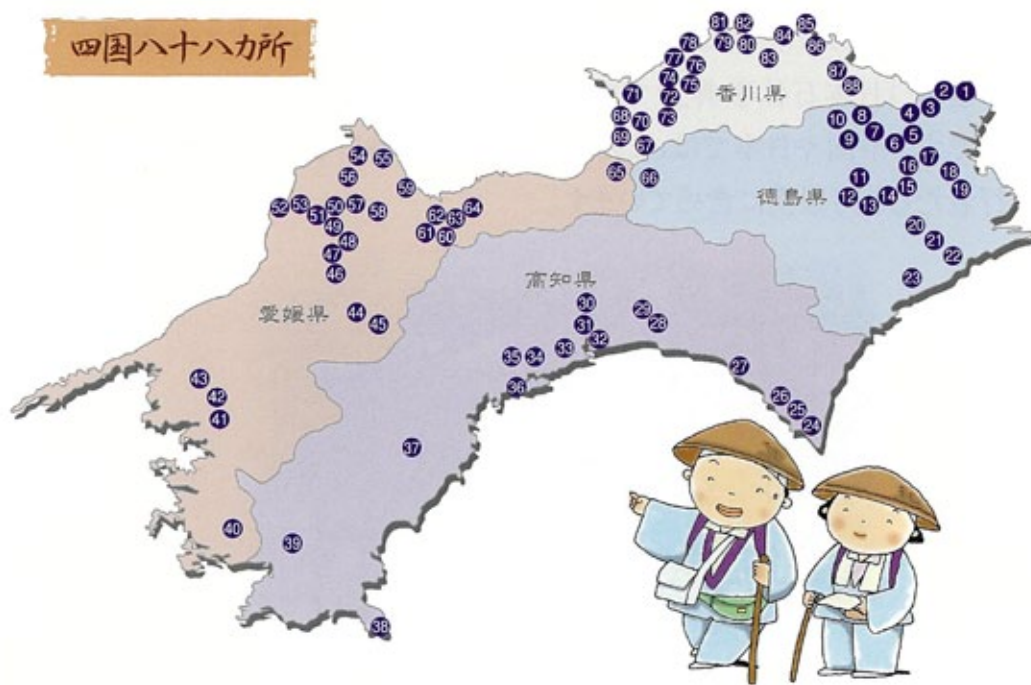
本尊
聖観世音菩薩
宗派
真言宗

84 南面山 千光院 屋島寺
香川県高松市



本尊
千手観世音菩薩
宗派
真言宗

四国八十八カ所



十六羅漢

西遊記で有名な唐の僧侶「玄奘(げんじょう)三蔵法師」は「法住記」という本を翻訳されていますが、その中に羅漢に関する記述があります。お釈迦様は入滅される前に、十六人の羅漢を枕もとに呼ばれ「私のように涅槃(ねはん)に行くのではなく、永久に人間の世界にあって、人々が徳を養い、仏門に入るよう手助けをしてあげなさい」と言い渡しました。

羅漢は正しくは阿羅漢といい、阿羅漢は梵語のアルハット(Arhat)の音訳です。阿羅漢は「一切の煩惱を断尽して尽智を得、世人の供養を受くるに適當なる聖者をいふ」(『望月仏教大辞典』)といわれています。つまり、「完全に悟りを開いた功德のそなわった最上の仏教修行者」(『日本石仏事典』)であり、悟りを開いた仏弟子たちの尊称なのです。中国や日本では、この仏弟子たち以外にも、高德な仏道修行者たちを阿羅漢に含めています。



ここでいう十六羅漢の名前は次の通りです。

賓度羅跋囉墮闍(びんどらばらだじゃ)、
 迦諾迦伐蹉(かなかばつさ)、迦諾迦跋釐墮闍(かなかばりだじゃ)、
 蘇頻陀(そびんだ)、諾距羅(なこら)、跋陀羅(ばつだら)、迦理迦(かりか)、
 伐闍羅弗多羅(ばつじやらほつたら)、戌博迦(じゅばか)、
 半託迦(はんたか)、囉怛羅(らごら)、那伽犀那(ながさいな)、
 因揭陀(いんかつだ)、伐那婆斯(ばつなばし)、
 阿氏多(あした)、注荼半託迦(ちゅうだはんたか)

「法住記(ほうじゅうき)」には十六羅漢の姿に対する具体的な描写はありませんが、唐の末期に「張玄」「貫休」という二人の僧侶が、「法住記」をもとに想像を加えて十六人の阿羅漢の絵を描きました。

